

令和4年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・授業に対する準備ができるようになってきた。
- ・授業の内容の進め方、実際の作業や作品制作の流れを理解している。

(2) 課題

- ・自分で考え、表現しようという意欲が少なく、すぐに先生や友達に聞こうとする。
- ・課題に意欲的に集中している生徒と集中できない生徒の差がある。
- ・用具や用法についての知識が少ない。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
作品を表現する上で必要な基礎的な知識や技術を学ぶことができる課題を用意し、実践で使うことで学べるようにする。	ものの見方や感じ方を、教科書や資料、友達の作品などから具体的に学ぶ機会を多くする。	できるだけ、自分のことは自分で考え、集中して取り組むことができるようにする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
新しい考え方を受け入れ、新しい知識を理解した上で、造形活動に取り組めるようにする。	新しい発想や工夫をするには、どのように考えたらいいか、具体的に指導し、作品表現に生かすようにする。	造形活動の中でよい面を自分で認めることで、美術表現の楽しさや美しさに関心を深められるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
今まで積み重ねてきた知識や技能を、組み合わせて新たな表現活動ができるような課題を準備する。	日本の伝統文化にも興味関心を広げ、修学旅行などで学んだ知識をもとに、様々な見方や感じ方ができるように指導する。	授業での作品作りのみならず、生活の中の美術についても、興味を深め、自分らしさについて考え、選択していけるように指導していく。